

## 1. 目標達成マネジメントツールの連動性確保

- 学校が目標達成に向けた組織的な取組を進めることで、子どもたちの力と意欲の向上を図るため、これまで県教育委員会では様々な目標達成マネジメントツールを提示してきた。

《これまで提示してきた目標達成マネジメントツール》

### ①学校評価の4点セット

→ 校長のリーダーシップの下、学校教育課題の解決に向けて組織的に取り組むために、重点目標を焦点化・具体化した上で作成する様式のこと（重点目標、達成指標、重点的取組、取組指標）。

（平成25年4月1日付け通知「芯の通った学校組織」の具体的な構築に向けて）

### ②授業改善の5点セット

→ 組織的な授業改善に向けて、マネジメントサイクル（PDCAサイクル）を実働させるために作成する様式のこと（授業改善テーマ、授業改善の重点、取組内容、取組指標、検証指標）。

（「目標達成に向けた組織的な授業改善」推進手引き 平成27年3月）

### ③目標協働達成の4点セット

→ 学校の重点目標達成に向けて、学校・家庭・地域が協働して取り組む事項を設定する様式のこと（重点目標、達成指標、重点的取組、取組指標）。

（「目標協働達成」の一層の展開に向けた手引き 平成27年4月）

### ④学力向上プラン

→ 児童生徒の学力・学習状況や教育課程の実施状況を踏まえ、各学校が家庭や地域の代表と協議した上で、学力向上の方策について策定する計画のこと。

（学力向上会議実施要項）

### ⑤体力向上プラン

→ 児童生徒の体力や生活習慣等の実態を踏まえ、体力向上に向けて体育主任等を中心とした全教職員による組織的取組を進めるための計画のこと。

（体力向上プラン実施要項）

### ⑥不登校対策プラン

→ 児童生徒の不登校等の実態を踏まえ、不登校の未然防止、初期対応、復帰支援に向け組織的取組を進めるための計画のこと。

（不登校対策プラン実施要項）

## 《 現状・課題 》

- 第4フェーズまでの取組により、各学校ではマネジメントツールを活用した取組が進められているが、マネジメントツールの相互関連性が意識されていない、様々なマネジメントツールを順次提示してきたために全体像が分かりにくいといった指摘がある。

### 第5フェーズの取組

- 各学校において「学校評価の4点セット」等の各種マネジメントツールを活用する際には、下記①～③を踏まえ、(i)～(v)のとおり連動性を確保する必要がある。(30頁参照)

- ① 「学校評価の4点セット」は、最上位のマネジメントツールとして位置付けられるべきものである。その上で、各種マネジメントツールの相互関連性を意識しながら各種様式・計画を作成し、日々の教育実践を行う必要がある。
- ② 「学力向上プラン」、「体力向上プラン」、「不登校対策プラン」は、「学校評価の4点セット」において目標の重点化・焦点化を進めてきたことも踏まえ、一般的に学校教育活動の中心課題である学力・体力向上、不登校対策に学校全体で組織的に取り組むために別個に作成するものである。また、「授業改善の5点セット」は学力向上に係る取組のうち授業改善に特化して作成するものである。
- ③ ①、②を踏まえ、「学校評価の4点セット」に授業改善に係る事項を盛り込む場合には、「授業改善の5点セット」に反映させるとともに、学力・体力向上や不登校対策に係る事項を盛り込む場合には、各プランの中にも同内容を反映させる必要がある。また、検証・改善を繰り返す中で、「学校評価の4点セット」や「授業改善の5点セット」の一部を変更する場合には、その都度各プランに反映させる必要がある。

#### (i) 「学校評価の4点セット」と「授業改善の5点セット」との連動

(※「学校評価の4点セット」に学力向上に関する事項を盛り込む場合)

- ▶ 「授業改善の5点セット」の【授業改善テーマ】は、「学校評価の4点セット」の『重点目標』の達成を授業改善の観点から具体化したテーマとする。ただし、「学校評価の4点セット」と「授業改善の5点セット」の連動の具体については、『重点目標』や『重点的取組』が、どの程度焦点化・具体化されているかによって様々なパターンが考えられる。

36頁の関係図のように「学校評価の4点セット」の『重点的取組』として焦点化した授業改善の取組を設定する場合には、『重点的取組』が「授業改善の5点セット」の【取組内容】と一致する場合もある。

- ▶ 「授業改善5点セット」の【検証指標】の達成が「学校評価の4点セット」の学力向上に関する『達成指標』の達成に近付くように設計する。

(ii) 「学校評価の4点セット」、「授業改善の5点セット」と「学力向上プラン」との連動（31頁参照）

- ▶ 「学力向上プラン」の【授業改善の取組】は「授業改善の5点セット」を踏まえ記載する。
- ▶ 「学校評価の4点セット」に授業改善以外の学力向上に関する事項を盛り込む場合には、その内容を「学力向上プラン」の【その他の学習指導の取組】に反映させる。

(iii) 「学校評価の4点セット」と「目標協働達成の4点セット」との連動

- ▶ 「目標協働達成の4点セット」の家庭・地域による【重点的取組】は、「学校評価の4点セット」の『重点目標』の達成に向け、家庭・地域が主体的に取り組む事項を学校と家庭・地域が協議して設定する。

(iv) 「目標協働達成の4点セット」と「学力向上プラン」との連動（30頁参照）

（※「目標協働達成の4点セット」に学力向上に関する事項を盛り込む場合）

- ▶ 「目標協働達成の4点セット」における家庭、地域の取組のうち学力向上に関する事項を「学力向上プラン」の【家庭・地域との協働】の取組に反映する。

(v) 「学校評価の4点セット」と「体力向上プラン」、「不登校対策プラン」との連動（33、34頁参照）

- ▶ 「学校評価の4点セット」に体力向上や不登校対策に関する事項を盛り込む場合には、それぞれのプランに反映する。

#### 取組の深化

- 校種間連携を進める上で、各種マネジメントツールを活用（摺り合わせ、一本化等）することが望ましい。
- 学校・家庭・地域の協働（特に、目標協働達成の取組の全県展開）を推進する上で、「学校評価の4点セット」と「目標協働達成の4点セット」の統合も検討する。